

# 青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター

電話 52-0894



## 6月の活動日誌から ～各地区の活動紹介～



### 6月10日(水) 北小野

両小野小学校と両小野中学校の通学路の見守りおよび地域内の巡回を行う。今日は、小学校と中学校の下校時間が一緒だったため、小学校近くの横断歩道と五差路の交差点、中学校から南側の十字路2カ所に立ち、横断の見守りを行う。中学校近くの十字路では、最初に自転車の生徒が通ったが、小さい交差点で車も止まってくれていることもあってか、左右を確認することなく止まらずに通過していった。その後徒歩で下校する数人のグループが何組か通ったが、車がきているよと声をかけたが、横断歩道を斜め横断したり、また戻ったりと危ない横断の様子が見られた。

### 6月11日(木) 高出

今日は、桔梗小学校であいさつ運動と通学路の見守りを行う。毎月11日は「信州あいさつ運動の日」と定められているので、のぼり旗を用意し、昇降口の前で下校する低学年児童を見送る。日頃から毎日見守りをしてくださっている方々とあいさつを交わす習慣がついているので、児童の方からあいさつをしてくれたり、ハイタッチをしにきてくれる子が多かった。高学年児童はクラブ活動のため、まとまって先生やボランティアの方々の引率でユメックスに移動する姿も見られた。低学年児童の下校が終わってからは、青パトで住宅街を巡回する。いくつか公園も回ったが、学校が早く終わったので自転車で集まって宿題をしている子たちもいた。住宅街ですれ違った児童は、ヘルメットを被らずに帽子だけで自転車に乗っていた。

### 6月17日(水) 片丘

片丘小学校前の道路の横断時の見守りを行った。1年生対象で、対象人数は10名以下で極めて小規模であった。次に丘中前の信号機のない交差点での道路の横断時の見守りを行った。一斉下校ということもあり、極めて多くの中学生の交通安全に

寄与できてやりがいがあった。声がけでも8割以上の生徒からあいさつやお礼の言葉があり、気持ちの良い活動であった。

### 6月24日(水) 檜川

本日も檜川小中学校の付き添い下校を行いました。くま鈴を持参して奈良井、木曽平沢方面にわかれて児童数人と歩きました。小学校3年生の児童は、蜂の巣のある場所を教えてくださいました。幸い古いものばかりで蜂はいませんでした。通学路にはほかにも蜂の巣が見られました。子どもたちは「下を向い歩けば全然平気!」としっかり対策をしていました。檜川の子どもたちはとても元気で、こちら側が元気をもらえます。

### 【7月の地区別活動】

|         |       |          |
|---------|-------|----------|
| 7/1(水)  | 大門    | 塩尻駅前街頭啓発 |
|         | 広丘    | 広丘駅前街頭啓発 |
| 7/15(水) | 宗賀・洗馬 | 西部中啓発活動  |
| 7/17(金) | 塩尻東   | 塩中啓発活動   |
| 7/22(水) | 吉田    | 通学路見守り   |

7/11(土)～7/20(月)は

夏の交通安全やまびこ運動期間です

夏休みを控え、子どもたちの行動が活発化することによる交通事故の増加や、酷暑期における飲酒運転の増加が懸念されることから、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止を図ることを目的とします。



### 【運動の重点】

- ① 横断歩道等における歩行者の安全確保
- ② 自転車等利用時の交通ルールの理解・遵守とヘルメットの着用
- ③ 高齢者の交通事故防止
- ④ 飲酒運転の根絶と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行



7月

「青少年の被害・非行防止全国強調月間」

「社会を明るくする運動全国強調月間」です

こども家庭庁では、学校が夏休みに入る毎年7月に関係府省庁・地方自治体及び民間関係団体と連携しながら総合的な被害・非行防止活動を展開しています。時代を担う青少年の育成は、社会全体で一体的に取り組む問題であり、地域が一体となって青少年の被害・非行の防止のために積極的な取り組みを進める必要があります。

#### 【長野県重点課題】

(1)有害環境への適切な対応

(2)薬物乱用対策の推進

(3)不良行為および初発型非行等の防止

(4)重大ないじめ・暴力行為等の問題行動およびその被害への対応

(5)再非行(犯罪)の防止



「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

犯罪や非行に陥る人を減らすためには、仕事、住居、福祉などの地域に根ざした支援が必要とされています。犯罪のない安全で安心な明るい社会を実現するため、立ち直りを支援する輪を広げていくこと、これが「社会を明るくする運動」の目指す未来です。

塩尻市では、7月1日(水)の朝の通勤・通学の時間帯に、塩尻駅、広丘駅、贄川駅で強調月間に伴う啓発活動を行いました。活動には、塩尻警察署、塩尻市青少年育成委員協議会、塩尻市保護司会、塩筑地区更生保護女性会の方々が参加し、リーフレットを入れたポケットティッシュを駅の利用者にあいさつを呼びかけながら配布しました。



## 第51回長野県青少年補導活動推進大会を開催



7月9日(木)塩尻市文化会館レザンホールにおいて、第51回長野県青少年補導活動推進大会が行われました。本大会は、県内の青少年補導

委員が一堂に会し、日頃のボランティア活動における諸問題や成果を共有し、併せて研修を行うことで、青少年補導活動について一層の進展を図ることを目的に行なわれます。始めに、主催者を代表して長野県青少年補導員会連絡協議会大会委員長宮下会長、開催市の石坂副市長より挨拶がありました。その後、長年にわたり青少年の補導活動に貢献された方々に対する表彰が行われました。当日は、表彰対象の方17名うち、10年以上補導活動に携わられた方が6名と、長きにわたり補導活動に携わられ、この度退任される方1名の7名が登壇し、宮下会長から賞状を受け取りました。各市の日頃の活動を紹介する事例発表では、18市を代表して須坂市と茅野市から発表が行われました。須坂市からは、委員の担い手不足や、地域により活動の充実度が異なるなどの課題に対し、委員数を削減しながら地区の実情に合った巡回方法に改善をするといった対策を、補導委員会を休止している茅野市からは、学校関係や警察、協力店など多様な組織が連携し、活動を集約しながら情報共有を続けることで、顔の見える関係性を維持



しているとの報告がありました。最後に信州大学学術研究院の上村恵津子先生から「こどもとのコミュニケーションを考える」と題し講演をいただきました。子どもたちのネガティブな感情も優劣付けず大事にし、話し合えば大人はわかってくれるという信頼感を育てていくことが大切とのことでした。

塩尻市役所 交流文化部 社会教育スポーツ課  
社会教育係

電話：0263-52-0894

FAX：0263-53-7604

窓口：塩尻総合文化センター1階 総合受付

担当：林、上條